

## 農家民宿実践者へのインタビュー② ～農家民宿ひなた～



目標は、近隣に農家民宿が5・6軒開業し地域が元気になること。まずは自分が先駆けとなって楽しみます！

### 基本情報

氏名 浦野公男・良子  
住所 富岡市中沢字日向 337 番地 1  
電話番号 0274-67-2191  
開業年数 半年 (2019年3月現在)



Q 農家民宿を開業したきっかけを教えてください。

A 家の改修に伴い空きスペースの活用法を探していたところ、農家民宿を知りました。以前から地域の農村風景を残したいと考えており、養蚕農家の家をそのまま活用して、農村の生活体験を提供できる農家民宿に魅力を感じました。

Q 印象に残っている思い出はありますか。

A 「ネギ」好きの家族の受入です。テレビで下仁田ネギの特集を見て、「下仁田ネギをたき火でそのまま焼いて食べてみたい」と来てくれました。収穫した下仁田ネギをたき火で焼いたり、網焼きをしたり、ネギづくしの1日で大変喜ばれました。

Q 開業の際、苦労したことを教えてください。

A 色々な窓口に行き、様々な許可を取るのが大変でした。役所に相談しながら、自分でも勉強しました。法令に合うよう、家を改修しないといけないこともあります。改修の行動を起こす際には、まず窓口（保健福祉事務所※）で指示を仰ぐようにして下さい。

※前橋市および高崎市の方は、各市保健所

Q 農家民宿の経営で、モットーや大切にしていることは何ですか。

A 「無理をせず、自分ができる範囲でやること」を心がけています。自分ではできないことは、地域の人に協力を依頼し、関わってもらうようにしています。近所の人畑で野菜を収穫させてもらったり、工芸が得意な人を講師に招いたりします。手伝いを頼まれた方も、嬉しいし張り合いがでます。

農家民宿を開業してみませんか

